



みみ

耳よい

メール

国立病院機構 相模原病院 広報誌
令和2年1月31日号
発行：国立病院機構 相模原病院
発行責任者：金田 悟郎
住所：相模原市南区桜台18-1
電話：042-742-8311（代表）
F A X：042-742-5314

第82号



▲ アンコール・ワット（カンボジア）クメール語で「寺院のある都」という意味で、12世紀初頭に建築され、1992年12月に世界遺産に登録された。撮影（2019年12月）：経営企画室 井上 浩嗣

第82号 目次

- ◆ 「さがみサクラねっと」のご案内 …… 2
- ◆ 「解剖慰霊祭について」…………… 8
- ◆ 「薬剤部のご紹介」…………… 9
- ◆ 職員募集のご案内 …… 11

連載 近隣協力医療施設の紹介コーナー

町田市 原町田
「佐藤威文前立腺クリニック」…………… 12



SAGAMIHARA
NATIONAL
HOSPITAL

私たちは患者の皆さまの
人権を尊重し、
十分な説明と同意に基づ
き親切で心のこもった医
療を提供します。

総合医療施設としての地域完結型医療の遂行

「さがみサクラねっと」のご案内

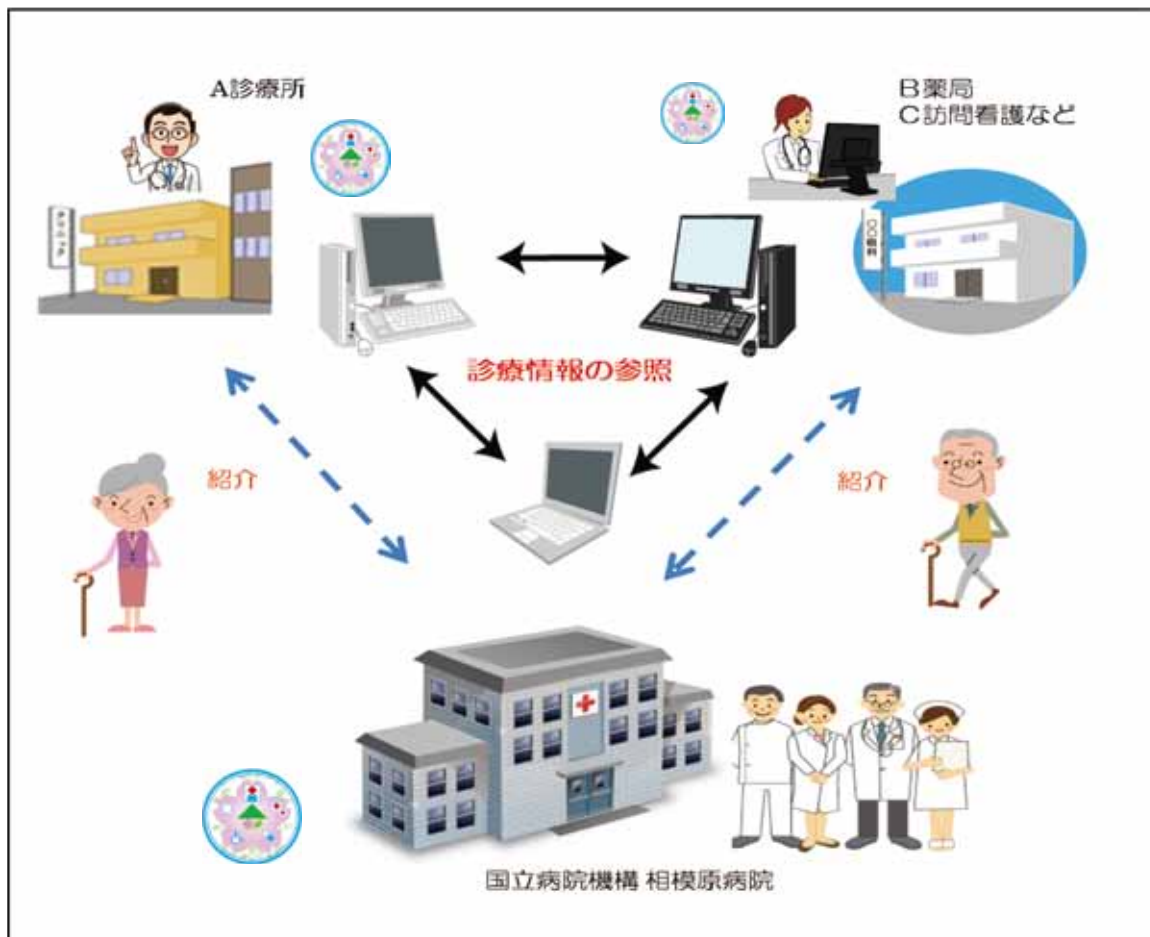
(地域医療介護情報ネットワークシステム)

地域医療連携室 佐々木 徹

当院は地域医療支援病院として地域への医療貢献を果たすべく、様々な試みを提供しております。

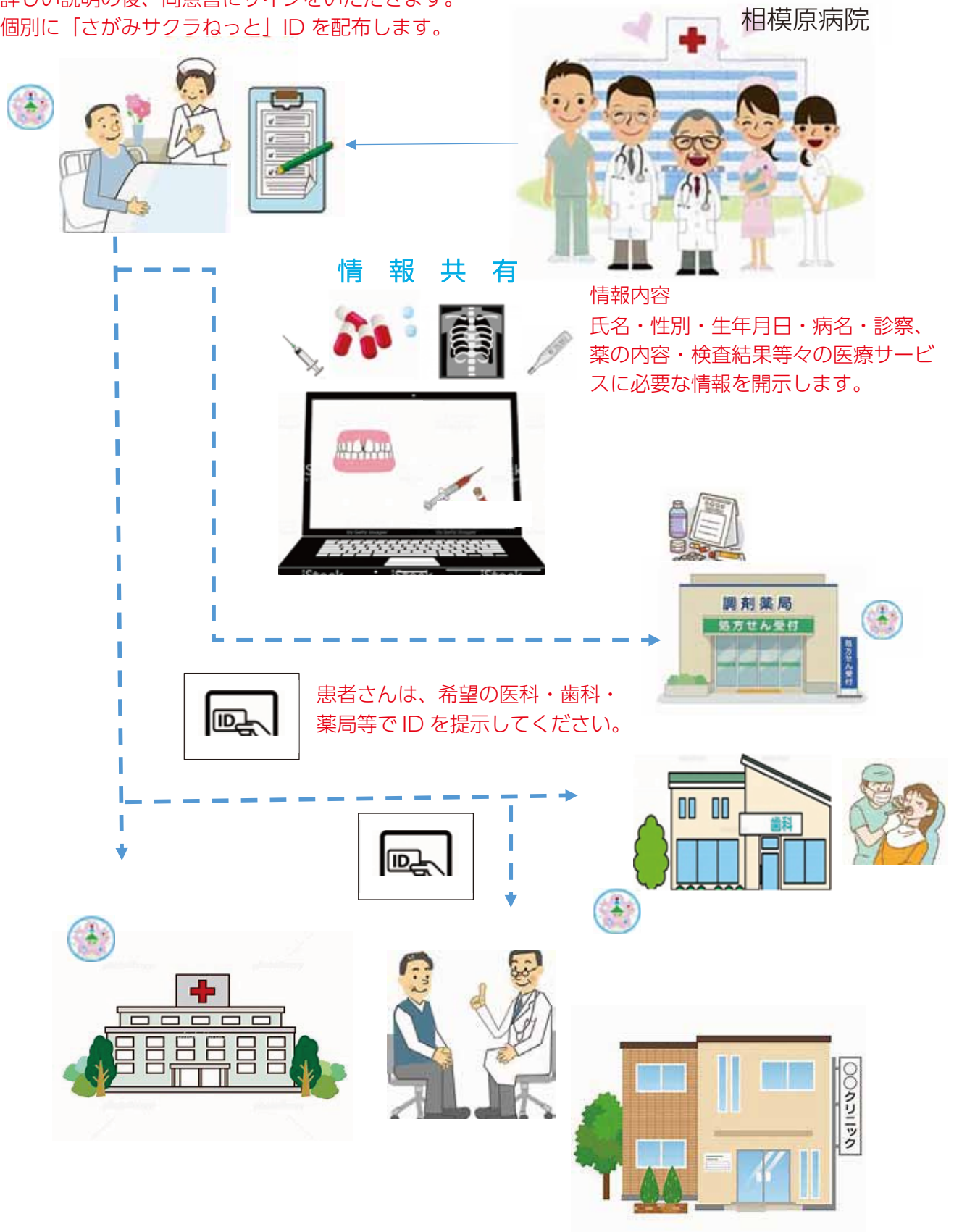
その一つが地域医療包括ケアを目的としたICT (Information and Communication Technology) システムの「さがみサクラねっと」です。

「さがみサクラねっと」はインターネットを利用して、患者さんの多岐にわたる沢山の診療情報を地域の医療機関で共有し、地域で完結できる良質な医療の提供を目的としたシステムです。特に高齢の患者さんは、複数の診療所や専門性の高い病院などに重複して診療を受けるため、施設間で診療情報を共有する事は大変有意義で、施設間の連携がスムーズになり、転院や入院或いは退院後の通院などの場合において、切れ目のない質の高い医療を受ける事ができます。また、患者さんが幾つもの医療機関に受診された場合、それぞれの施設で処方された薬の重複が見つかり減薬に繋がったり、不必要な検査をしなくて済んだり、労力や医療費の削減に繋がりが、多くの無理や無駄を省くことができます。



「さがみサクラねっと」に参加された患者さんのイメージ

詳しい説明の後、同意書にサインをいただきます。
個別に「さがみサクラねっと」ID を配布します。



1 患者さんのメリット

- このネットワークをとおして、患者さんがかかっている複数の病院、診療所、歯科、調剤薬局などの施設間で情報を共有することで、施設間の連携がスムーズになります。このことから安全で質の高い医療・介護サービスの提供が得られます。

2 個人情報の保護

- インターネット回線での診療情報は暗号化されており、回線上からは情報を取得することができないようになっています。
- 診療情報を見ると利用記録が残り、いつ、だれが、どの情報を見たのかの確認ができるようになっています。
- 厳格な規約やルール制限が有り、個人情報の遵守が義務づけられています。

3 必要な手続き

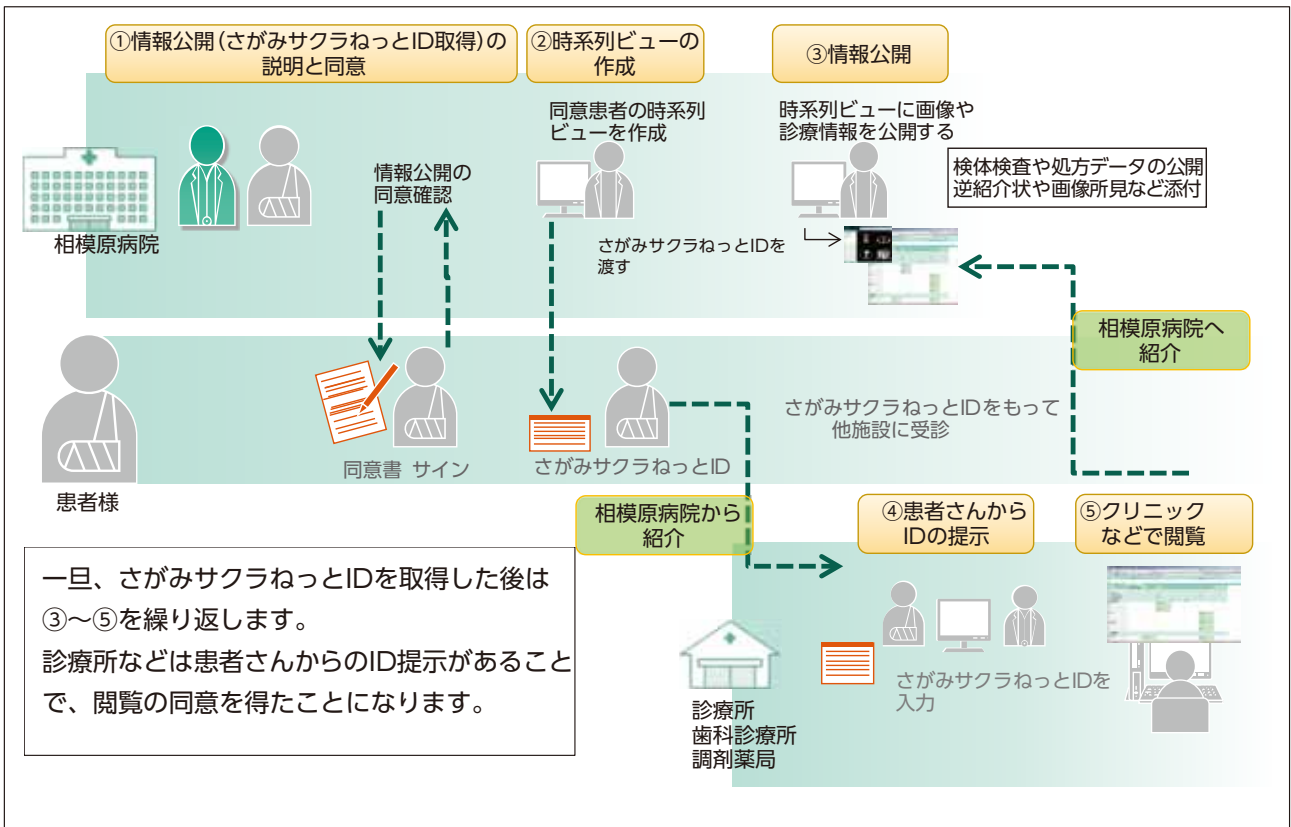
- 利用説明書をご理解いただいた患者さんは、同意書を提出してください。本人もしくは代理人の署名をお願いします。
- 「さがみサクラねっと」に参加している施設でのみ情報を閲覧することができます。
- 参加施設には右のロゴマークのステッカーが提示されています。
- 費用は無料です。途中で参加を撤回することもできます。
- 参加、不参加にかかわらず今後の診療に不利益が生じることは一切ありません。
- 参加いただいた患者さんには個別に「さがみサクラねっと ID」を発行します。



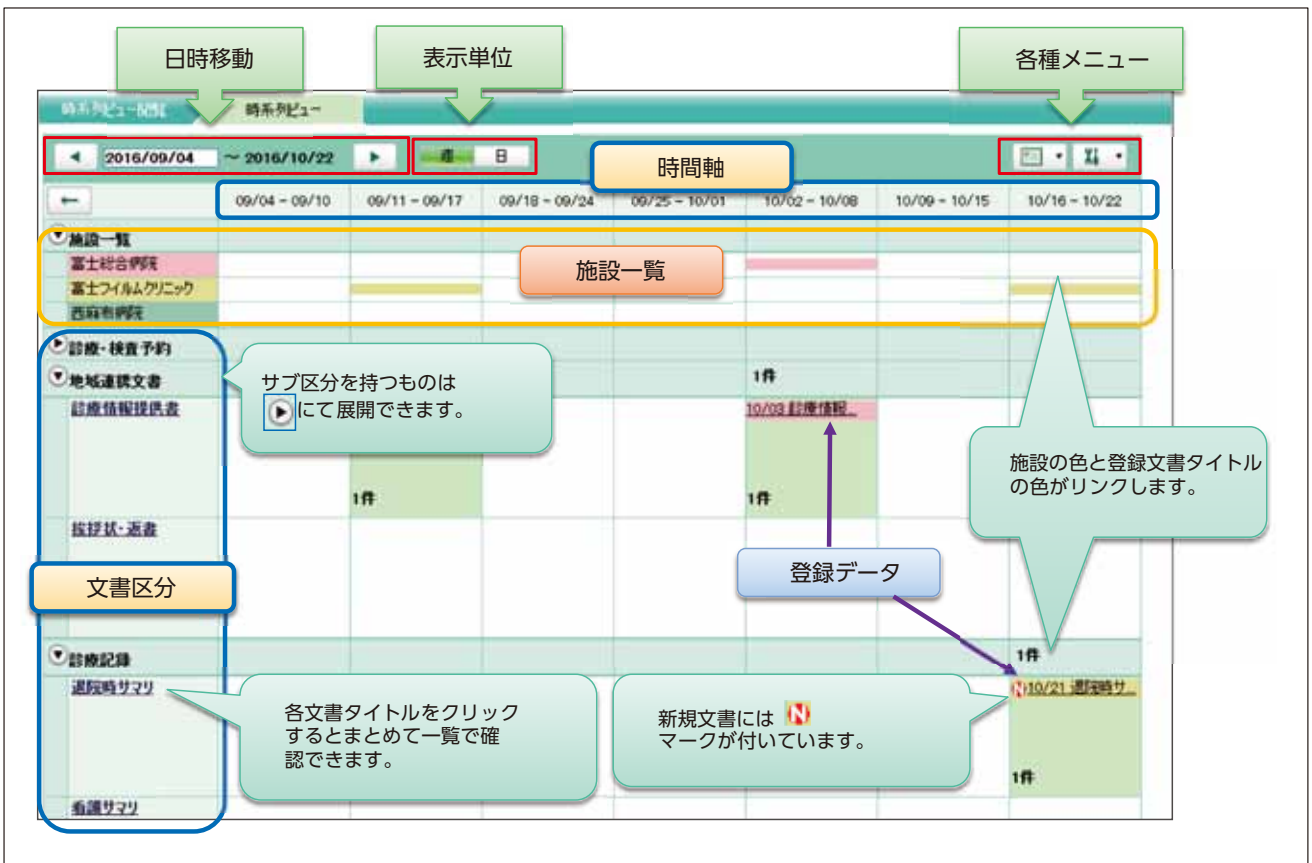
4 相談窓口

- 「さがみサクラねっと」に関する相談窓口は相模原病院「さがみサクラネット」事務局です。来院時は受付1番にお越しく下さい。TEL042-742-8311 (代表) いつでもお気軽にお問合せください。

参加施設との運用イメージ



各種診療情報の共有・閲覧



「検査結果(マトリックス)」をクリック、右側に「検査結果」の詳細情報が表示します。

	2017		2016	
	03/27	01/16	12/19	11/21
GOT(AST)	12	15	12	21
GPT(ALT)	10	10	10	31
ALP	167	167	167	169
LDH	148	185	148	122
T-Bil	0.5	0.3	0.5	0.4
Urea-N	13	8	13	16
Cre	0.57	0.59	0.57	0.55
T-CHO	212	212	212	176
Ca	8.9	8.5	8.9	8.2
TP	6.4	6.4	6.4	5.8
Na	146	144	146	140
K	4.7	4.3	4.7	4.2
Cl	99	110	99	104
RBC	417	417	417	401
HGB	13.6	13.6	13.6	13.0
WBC	6.9	6.9	6.9	7.7
HT	39.5	39.5	39.5	38.3
MCV	94.7	94.7	94.7	95.4
MCH	32.6	32.6	32.6	32.3
MCHC	34.4	34.4	34.4	33.8
CRP				0.3
γ-GTP	11	10	11	

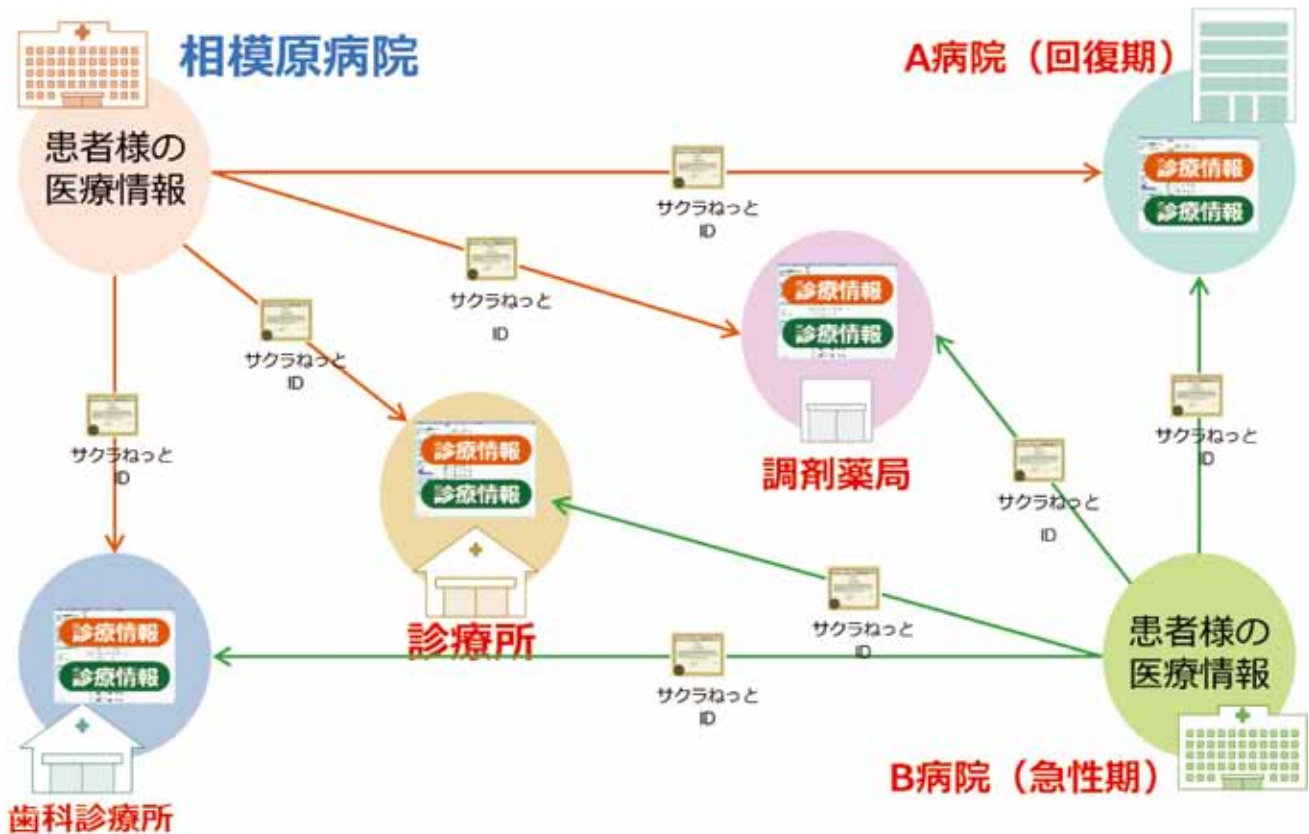
検査結果が日付別に表示されます。

患者様毎の詳細内容が別画面で開きます。

選択日の情報

2017年01月16日の診療記録

患者属性情報、オーダ情報、入退院情報、検体検査結果が表示されます。



- 急性期から慢性期、回復期を経る過程において、患者さんの状態の変化に伴う転院時、それぞれの患者さんの診療情報の共有をすることは大変大切です。「さがみサクラねっと」の使用では診療所と病院との間の連携がスムーズになります。

特に在宅診療では多様な職種が連携した診療が必要とされるため、医科のみならず、歯科・調剤薬局を含めた迅速な情報提供による相互のコミュニケーションを取ることができます。

- 厚生労働省は2025年（団塊の世代が後期高齢者になる）までに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域医療包括ケアシステム）の構築を推進しています。

患者さんを取り巻く種々の医療機関や介護施設等との間で、迅速で密な情報共有が必要です。

そのためには、行政も含めた地域全体での情報共有システムの構築が大変有意義なものとなります。



厚生労働省ホームページより

地域医療連携強化活動の下、相模原病院では地域包括ケアを目的とした「さがみサクラねっと」の構築を進めています。未だ完璧なシステムとは言えませんが、基本的な部分はすでに準備ができており、現状は未熟なこのシステムを成熟したものにするために懸命に育てている段階です。立派なICT 連携システムに育てていくには地域の先生方、医療スタッフや看護・介護スタッフの皆様からのご意見、ご要望に沿い、協同した運用が必要となります。皆様から多くのご意見を頂きながら、一緒に育てていくことで、地域に根付いた欠かすことができないシステムに育つ筈だと確信しています。最終的な目標は介護認定手続き（自治体⇄主治医）主治医意見書等の送受信など、行政も取り込んだ利用を進め、相模原市での展開だけでなく、隣接する座間、大和、町田地区へ、その展開を広げていく所存です。

地域への質の高い医療提供には、安全で利便性の高いICT システムの構築が必要不可欠です。是非とも地域の皆様の協力での「さがみサクラねっと」を育てて頂きたいと思っております。

解剖慰霊祭について

経営企画室長 山崎 悦伸

10月16日（水）当院体育館において、解剖慰霊祭を執り行いました。

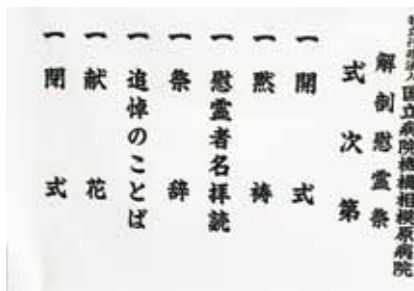
この慰霊祭は、最新・最善の医療技術をもってしても、なお、その効なく、不幸にして亡くなられ、疾病の原因や病態の究明など、医学の発展のために病理解剖に身を委ねられた故人のご冥福を祈願するために執り行っております。

今回は、平成28年1月1日から平成30年12月31日まで75名の方々の御霊に、最初にご遺族及び当院職員で黙祷を捧げました。次に統括診療部長平田より慰霊者名を拝読し、病院長金田の祭辞では、「私も医療に従事する者としたしましては、引き続き医療技術の研鑽に努め、我々自身の医療技術の向上はもとより、わが国の医療の発展のために、今後とも全力を尽くしてまいります。」という決意表明がありました。

また、ご遺族代表者様より「夫は、治りたいという強い思いがいっぱいでした。「亡くなることはない」「元気でいれば・・・医療の進歩でいつかはきっと」と信じて前向きに取り組んでいましたが、本人の思いも空しく、この世を去ってしまいました。この思いを未来の人々の幸せに繋げて頂けたらと強く願っております。」という医学の発展に期待をかける心打たれるお言葉を頂きました。

更にご遺族及び当院職員で献花を執り行い、副院長安達よりご参列頂いたご遺族へお礼を申し上げ、閉会と致しました。

最後に、75名の方々の御霊に職員一同、心から哀悼の意を深く表しますとともに、引き続き、全力で治療に尽くしてまいります。



「解剖慰霊祭」で祭辞を読み上げる金田院長

薬剤部のご紹介

薬剤部 製剤主任 足立 裕希子

薬剤部では、くすりの調剤・調製だけではなく、入院患者さまへのくすりの飲み方・使い方の説明や副作用のチェック（病棟薬剤業務）、持参薬の確認（入院案内センター）、外来化学療法への参加、副作用・相互作用に関する情報の収集や提供、薬の供給、適切な管理、治験薬管理業務など様々な業務を行っています。他にも、近隣の薬局との連携を強化するために院内採用薬の報告や、連絡会の開催、大学から学生の実務実習を受け入れ、将来薬剤師となる学生の教育も行っています。

●内服薬の調剤

調剤室では、オーダーリングシステムにより医師が発行した処方せんに基づいて処方監査、調剤、総監査を行います。医師から処方せんが発行されると、処方せん記載事項（薬品名、用法用量、相互作用、配合禁忌等）を確認し、コンピューターにより発行した薬袋の記載事項を確認した後、薬の調製を行います。調製された薬は、最後にもう一度薬剤師により確認された後、患者さまへ渡されます。



電子カルテとオーダーリングシステム



錠剤分包機

●注射薬の調剤

注射の払い出しでは、医師が入力した院内オーダーリングからのデータを受け、注射せんと共に薬（アンプル・バイアル等）を取り揃え、投与量や安定性・混合の可否などについて監査を行い、補液と組み合わせて、病棟・外来等へ払い出しを行います。



●抗がん薬の調剤

抗がん薬は、安全かつ有効な治療を続けられるよう予め決められた処方内容に従って調製します。また調製者の抗がん剤からの被ばくを避けるために安全キャビネットという装置の中で調整をおこない、ガウンや手袋、マスク、ゴーグルを適切に着用しています。



●病棟での薬剤師の業務

病棟では、各病棟担当の薬剤師が医師や看護師と連携しながら、入院患者さまの薬の投与量や相互作用、副作用のチェックを行っています。また患者さまに薬の必要性や飲み方、副作用を行います。薬に対する不安や疑問をなくし、安心して薬を服用していただくことを目標に業務を行っています。

●入院案内センターでの薬剤師の業務

入院案内センターでは、自宅から持ってきていただいた薬(持参薬)の確認を行っています。入院して治療を始めるにあたり、どんな薬を飲んでいたか、治療に使用する薬との飲み合わせはどうか、薬の重複はないかを確認しています。また、手術や検査を受けるにあたり中止する必要のあるお薬の確認をしています。確認した内容は、医療スタッフで共有し治療に役立てています。



●薬の情報を管理、伝達する業務

必要な時に医療スタッフおよび患者さまに適切な形で提供する仕事をしています。薬の問い合わせに迅速に対応するため、日頃から書籍・文献などを整理・保管し、製薬会社の薬担当者やインターネットを利用して最新の情報を収集、薬毎にファイルすると共に必要に応じて院内の各部署に伝達しています。



●薬を供給、管理する業務

薬の発注、検品、納品を行います。薬は温度や湿度、光などにより効き目が弱くなることもあり、決められた条件下で保管する必要があります。また、薬にも使用期限があります。災害時や、製造元のトラブルにより供給が難しくなることもあり、その際にも患者さまの薬物治療に不利益がないように対応しています。

●治験で使われる薬を管理する業務

治験のルールに則って正しく治験が行われるように資料の作成、委員会の開催、治験薬の管理、調剤を行います。

最後に・・・みなさまがお持ちのお薬手帳は、現在どのようなお薬を飲んでいるか、確認を行う上でとても大切です。外来受診や入院手続きの際はぜひお持ちください。

また、お薬のことで心配なこと、分からないことがある場合は遠慮なく薬剤師に声をおかけください。

職員募集のご案内

募集職種、 人数	業務技術員【看護助手】（非常勤職員） 若干名
採用時期	採用日 ～ 勤務成績によって次年度の任用更新をいたします
職務内容	患者搬送、体位変換（看護師と共同で実施）、物品清掃、シーツ交換、環境整備等
勤務時間	1週間当たり32時間以内の勤務 シフトによる勤務で勤務時間により週休2～3日、土日祝日勤務の可能性あり 休憩時間は60分
給与等	独立行政法人国立病院機構非常勤職員給与規程に基づき支給 【時間給】1,210円 【手当】通勤手当 【賞与】1ヶ月当たり6,000円を上限として、年2回支給あり 【保険等】勤務時間数に応じて、政府管掌保険、厚生年金保険、雇用保険に加入
提出書類	履歴書、職務経歴書等

応募方法	提出書類を郵送して下さい。（送付の際に電話連絡は不要です） 書類選考後、面接を受けていただく方については、面接日をご連絡いたします。 書類選考で不採用となった方についても文書にて結果を通知いたします。
書類送付先	〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1 独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 管理課給与係長 中田 TEL 042-742-8311 FAX 042-742-5314
その他	上記募集内容の詳細をお知りになりたい方は、上記書類送付先担当者までご連絡下さい。 結果のいかんにかかわらず、応募書類は返送いたしませんので、ご了承下さい。 提出書類は封筒に「○○○○○○○（←該当職種名）応募書類」と朱書きしてお送り下さい。

連載

近隣協力医療施設の紹介コーナー

町田市 原町田

「佐藤威文前立腺
クリニック」

院長

佐藤 威文 先生



みなさんこんにちは、佐藤威(たけ)文(ふみ)前立腺クリニックの佐藤です。2017年5月に開院した前立腺クリニックで、JR町田駅、ならびに小田急町田駅が最寄り駅となります。

これまで北里大学病院で「前立腺がん」を中心として、診断から根治療法、再発や骨転移の集学的治療など、多くの患者さんの診療に従事して参りました。この「前立腺がん」ですが、2016年には年間8万9千人が診断されており、胃がんに次いで、実は日本人男性の「第2位のがん」になっています。前立腺がんと診断された場合、「早期」であれば「手術」や「放射線治療」で多くは完治が期待され、進行が遅いがんの場合には、直ちに治療を行わず、定期的に検査を行う「監視療法」を選択できる場合もあります。また「転移」や「再発」、および内分泌療法が効かなくなる「去勢抵抗性(きょせいていこうせい)」などの状態においても、新しい内分泌療法や骨転移への治療薬、放射線治療や放射線医薬品を患者さんの状態に応じて組み合わせることで(集学的治療)、「生活

の質(QOL)」を維持しながら、「より長く生存」できるようになってきています。

これまでの経験と専門性を生かし、引き続きセカンドオピニオンも行ってまいりますので、ご相談ください(予約制)。



【佐藤威文前立腺クリニック】

診療科：泌尿器科

診療時間：

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	●	●	/	●	●	●	/
14:00~17:30	●	●	/	●	●	/	/

休診：水曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

電話：042-860-6307

住所：〒194-0013
東京都町田市原町田4-1-4 Lifixビル2階
JR横浜線「町田駅」ターミナル出口より徒歩4分
小田急電鉄「町田駅」南口より徒歩8分

